

みんなで将来の総社市を担う
子どもたちの子育てを応援しましょう



松尾 こだも課長

●今後の子育て支援は
新谷 いろいろと子育て支援のための事業があることは、分かりました。今後はどのようなところに重点を置いていくのですか。
松尾 今までは、仕事などで子どもの面倒が見られない家庭に対するものが多かったように思いますが、核家族化の進展に伴い、保育所や幼稚園に通っていないで、家で過ごす乳幼児のいる家庭への支援も重要となってきました。そういったことにも力を入れるべきだと思っています。
新谷 こうした支援は、何か計画に基づいてされるのですか。
松尾 現在、次世代育成支援計画（総社つ子プラン）や今後10年を見通した総合計画を策定中で、そのなかで

子育て支援の目標を設定し、実現していくようとしています。
新谷 具体的なものが、何か決まっていますか。
松尾 今後も、働く親とその子の支援として民間の保育所の新設や放課後児童クラブの充実。そして、家庭にいます子どもたちのために子育て支援センター事業の充実や「つどいの広場」の充実などを図っていきたくと思っています。さらに、新たに法制化された幼保一元化を目指し、「認定こども園」も考えています。これは、幼稚園のいいところと保育所のいいところを合体させたようなものです。これから地域のニーズも把握して、教育委員会とともに調査研究していきたく考えています。
新谷 親にとっても子どもにとっても



幼稚園の開放で遊ぶ子どもたち

新谷 つどいの広場は知っています。場所が変われば、子どもにとってもおもしろいのではないかと思います。す。保育所以外でも何かありますか。
松尾 乳幼児の健康支援のための一時預かり事業、ファミリーサポートセンター事業などがあります。乳幼児の健康支援のための一時預かり事業は、病気の回復期の子どもで、まだ保育所などでの集団保育ができない場合に一時的に預かる事業です。NPO法人保育サポート「あい・あい」が行っているファミリーサポートセンター事業は、登録された会員間でさまざまな子育て支援のサービスを提供するものです。例えば、保育所・塾・放課後児童クラブへの送迎や、子どもの一時保育などを行っています。

託児や子育てを応援するボランティア団体もありますね。
松尾 はい。相当な数のボランティア団体があって、さまざまなサービスや育児サポートが提供されています。
新谷 育児サポートがあると親もリフレッシュできますからね。さきほど、幼稚園の開放というお話がありましたか。
松尾 教育委員会では、未就園児とその保護者を対象に、地域に開かれた幼稚園や親同士の交流を考えて、平成9年度から幼稚園の園庭を開放をしています。
新谷 これも利用したことがありません。入園するまでに幼稚園の様子も分かって、お母さんたちの不安も解消されます。子育ての悩みをいっぱい抱えているお母さんにとっては、こういう取り組みはうれしいですね。
松尾 おおむね1時間30分程度の時間のなかで、幼稚園の先生や園児といっしょに水遊びや積み木など季節に合った家庭ではできない遊びをし、親子でゆったりと楽しい一時を過ごせるような内容が用意されています。
新谷 1時間30分は子どもにとって



新谷 優子 さん
(市政モニター)

与えられるものではなく、
生活に合ったものを選び、使いたいですね

も、親同士おしゃべりしていてもあつという間に過ぎてしまっていますが、貴重で楽しい時間になると思います。それと、幼稚園でも預かり保育という延長保育をしていますよね。
松尾 はい。在園児を対象に保護者が急病や急用のときに午後4時まで保育しています。幼稚園も地域の社会資源の一つですので、より一層地域へ貢献をしたいと思っています。
新谷 幼稚園も地域の子育て支援の拠点の一つですね。子育て支援のサービスにはいろいろありますが、与えられるものではなくて、生活に合ったものを選び、使うというのがいいのでしょうかね。
松尾 そうですね。

いい方向に進んでいくといいですね。
松尾 市民参加と、協働による地域ぐるみの子育てを応援できたらと思っています。
新谷 最後に、市民の皆さんへ何かメッセージがありますか。
松尾 子育てで悩んでいる若いお母さん、お父さん、悩みを一人で抱え込まず、安心して子育てを産み育てられるように、子どもたちが主役の子育て支援をしていけたらと考えています。この取材中、ある幼稚園長が「家庭で見てもらうのが一番なのですが、その手助けをしたり、相談にのってあげたりしています」と、幼稚園の役割について話してくれました。それぞれのもつ役割をそれぞれが果たし、子どもたちが健やかに成長するよう、市をはじめ、保育所や幼稚園、地域などが連携し力を合わせて、子育てを応援していきましょう。

安心して子どもを産み育てられるように！
 今回の対談では、さまざまな子育て支援サービスについてふれています。市では、安心して子どもを産み育てられるように、子どもたちが主役の子育て支援をしていけたらと考えています。この取材中、ある幼稚園長が「家庭で見てもらうのが一番なのですが、その手助けをしたり、相談にのってあげたりしています」と、幼稚園の役割について話してくれました。それぞれのもつ役割をそれぞれが果たし、子どもたちが健やかに成長するよう、市をはじめ、保育所や幼稚園、地域などが連携し力を合わせて、子育てを応援していきましょう。

◆各幼稚園の連絡先

幼稚園名	電話番号	幼稚園名	電話番号
総社	93-4303	秦	95-8930
井尻野	92-0609	神在	93-0687
総社南	93-5280	久代	96-0423
総社北	93-2205	山田	96-0927
常盤	92-4408	新本	96-0928
三須	92-0426	昭和	99-1305
服部	92-0323	維新	99-1310
阿曾	99-9130	山手	92-0581
池田	95-8127	清音	94-0042

おかやま
子育て家庭応援カード
「ももっこカード」



ももっこカード

今年10月から、妊娠中の人や小学校6年生までの子どもをもつ家庭へ「ももっこカード」を交付（申請が必要）します。これは、協賛企業などで買い物や施設利用をしたときに、このカードを提示すると、割り引きやポイントの加算といった特典が受けられるというものです。カードの申し込みは9月15日以降、健康保険証や母子健康手帳など小学校6年生までの子どもがいることを証明できるものを持参して子ども課窓口へお越しください。また、協賛していただける店舗も募集しています。申込先・問い合わせ 子ども課子育て支援係 ☎8268